

9月



5日 第3回すこやか長寿まつり(～10月11日)

19日 第6回ジオパーク国際
ユネスコ会議(～22日)

カナダ・セントジョンで開催された同会議で、森市長が世界認定を目指す「桜島・錦江湾ジオパーク」のプレゼンテーションを行いました

20日 レッサーパンダの赤ちゃん(2頭)一般公開開始



10月



1日 ドクターカー暫定運用
開始

救命率の向上や後遺障害の軽減などを図るため、市立病院を拠点としたドクターカーの暫定運用が始まりました

18日 音とあかりの散歩道

18日 アジアン・鹿児島2014

「第9回かごしまアジア青少年芸術祭」(～19日)

23日 薩摩維新ふるさと博～維新と出逢う時間旅行(～11月9日)



11月



1日 新生鹿児島市10周年

1日 鹿児島市制125周年・
新生鹿児島市10周年
記念式典

本市の発展を支えてきた先人の努力と業績に感謝し、これまでのあゆみを振り返ることで、本市がさらに大きく飛躍するための契機として記念式典を開催しました。

式典では小学4年生(10歳)の子どもたちが未来に向かって宣言を行いました。

1日 中村晋也氏に名誉市民の称号を、豊永義夫氏と吉田ミツ江氏に鹿児島市民表彰を贈呈

2日 第63回おはら祭(～3日)

7日 山形県鶴岡市との兄弟都市盟約45周年記念式典(鶴岡市)

9日 第3回わくわく福祉交流フェア



11月号掲載

プレゼント問題(3面のQ12)の答え

250通を超えるたくさんのご応募ありがとうございました。正解者の中から抽選で商品を送付いたします。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

皆さんからいただいたご意見・ご感想は、今後の広報紙づくりの参考とさせていただきます。



5月



8日 第24回椋鳩十児童文学賞
授賞式

今年で最後となった同賞は、有沢佳映氏の「かさねちゃんにきいてみな」が受賞しました

12日 防災点検

18日 第17回渋谷・鹿児島
おはら祭(東京都渋谷区)

28日 谷山北公民館入館者
100万人達成



6月



6日 魚霊祭

9日 遠藤選手への市民応援
メッセージ伝達

サッカーワールドカップブラジル大会日本代表で、本市ふるさと大使の遠藤保仁選手への応援メッセージを遠藤選手のご両親に手渡しました

23日 資源物回収活動実施優
良団体表彰式



7月



3日 2014鹿児島市物産と観光キャンペーンin神戸(～8日)

18日 市立美術館で特別企画展「西洋近代絵画と松方コレクション」を開催(～8月31日)

22日 維新ふるさと館入館者
300万人達成

平成6年4月にオープンし、今年20周年を迎えた同館への入館者が300万人を達成し、記念セレモニーを開催しました

26日 2014桜島火の島祭り



8月



12日 オーストラリア・パース市との姉妹都市盟約40周年記念式典(パース市)

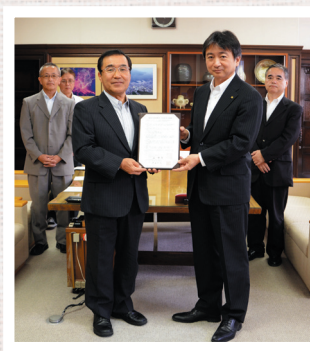
19日 市消費生活センター開所20周年記念講演会

23日 第14回かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会

27日 鹿児島国際大学との連携協定締結

大学の専門的知見や学生の若者ならではの発想と行動力をまちづくりに生かすため、鹿児島国際大学と連携協定を締結しました

31日 ジュビロ磐田「鹿児島デー」



■この一年を振り返って
今月から、みなと大通り公園や鹿児島中央駅前広場など4カ所所で冬のイルミネーションが始まり、師走の街に彩りを添えています。これに欠かさないのがLED電球です。LEDの中でも困難といわれていた青色LEDを開発した本市ゆかりの赤崎勇さんが、ノーベル物理学賞受賞という明るい話題を私たち市民に届けてくれました。

さて、本年、市制施行125周年、新生鹿児島市10周年という大きな節目を迎えましたが、パース市との姉妹都市盟約40周年、鶴岡市との兄弟都市盟約45周年などを機に、国内外の都市との友好の絆をさらに深めた年でもありました。また、子育て応援ポータルサイト「夢すくすくねっ」との運用を開始するとともに、北部親子つどいの広場「なかよし」を開設するなど、「子育てをするなら鹿児島市」をさらに推進しました。特集では、これら今年の市政の動きや取り組みを紹介しています。

この一年、市民の皆さんの市政に対する温かいご理解とご協力をいただき、市政をもっと前へ進めることができましたことに、心から感謝申し上げます。慌ただしい年の瀬、どうかつつがなくお過ごしください。

■コアラ3頭を迎えて
この10月、平川動物公園にオーストラリアから3頭の元気なコアラを迎えました。30年前の1984年(昭和59年)、日本で初めて、雄のコアラ2頭が、翌年に雌4頭が来園して以来のことです。

本園では、最も多いときで27頭という日本一の頭数を飼育していましたが、近年、高齢化や繁殖の難しさから頭数が減少し、今後の飼育に大きな危機感を抱いていました。このようなことから、私自身、平成21年にクイーンズランド州政府に新たなコアラの誘致を直接要請するとともに、翌年には、本市でコアラ会議を開催し、コアラの種の保存に関する協議を行うなどの取り組みを進めてきました。これらを振り返りますと、今回のコアラ来園は実に感慨深いものがあります。

10頭と、再び日本一の飼育頭数となったコアラに赤ちゃん誕生の期待も高まります。ユーカリの葉をおいしそうにほおばる愛らしいコアラが市民の皆さんのご来園をお待ちしています。



鹿児島市長
森博幸

